

調査概要

◆ 調査の目的

都内在住外国人の増加により、日本人と外国人が地域で共に暮らし、活躍していく多様化共生社会を実現するため、やさしい日本語についての意識調査を実施し、より効果的なやさしい日本語普及啓発事業に資することを目的に本調査をおこなった。

◆ 調査項目

- (1)外国人との接触機会
- (2)やさしい日本語の認知度/認知経路
- (3)やさしい日本語の使用頻度/使用場面
- (4)やさしい日本語の使用意向
- (5)災害や行政の情報でのやさしい日本語の取り組みの認知度

◆ 調査対象 都内在住16歳以上の男女

◆ 調査手法 インターネットモニターを対象とするWeb調査

	2022年	2023年	2024年
調査時期	3/18~3/22	2/27~3/3	2/15~2/19
回収結果	2,303サンプル	2,333サンプル	2,344サンプル

◆ サンプル属性の内訳

都内在住の16歳以上の男女均等割り付け

2022年サンプル属性内訳（性年代別）

	全 体	20代以下 男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代以上 男性	
(実数)	2,303	202	224	235	237	240	
(%)	100.0	8.8	9.7	10.2	10.3	10.4	
	全 体	20代以下 女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代以上 女性	20代以下 その他
(実数)	2,303	217	237	235	237	233	6
(%)	100.0	9.4	10.3	10.2	10.3	10.1	0.3

2023年サンプル属性内訳（性年代別）

	全 体	20代以下 男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代以上 男性	
(実数)	2,333	207	235	235	237	248	
(%)	100.0	8.9	10.1	10.1	10.2	10.6	
	全 体	20代以下 女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代以上 女性	20代以下 その他
(実数)	2,333	216	233	238	239	243	2
(%)	100.0	9.3	10.0	10.2	10.2	10.4	0.1

2024年サンプル属性内訳（性年代別）

	全 体	20代以下 男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代以上 男性		
(実数)	2,344	217	222	241	241	250		
(%)	100.0	9.3	9.5	10.3	10.3	10.7		
	全 体	20代以下 女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代以上 女性	20代以下 その他	30代 その他
(実数)	2,344	217	233	237	240	243	2	1
(%)	100.0	9.3	9.9	10.1	10.2	10.4	0.1	0.0

過年度比較資料

やさしい日本語の認知度（全体）

- やさしい日本語の認知度について、2022年、2023年と2024年を比較した。
- やさしい日本語の認知度は2022年は36.8%、2023年は40.2%、2023年は41.0%で2022年から2023年は増加しているが、2023年から2024年は横ばい傾向である。（グラフ1参照）。
- 回答の内訳をみると、「よく知っている」は前々年比1.1ポイント、前年比1.3ポイント増加、「ある程度知っている」は前々年比2.1ポイント増加、前年比0.3ポイント減少、「見たこと、聞いたことがある」は前々年比1.0ポイント増加、前年比0.4ポイント減少、「全く知らない」は前々年比4.2ポイント減少、前年比0.8ポイント減少している。全体を通して、やさしい日本語の認知度がやや上昇していることがわかる（表1参照）。

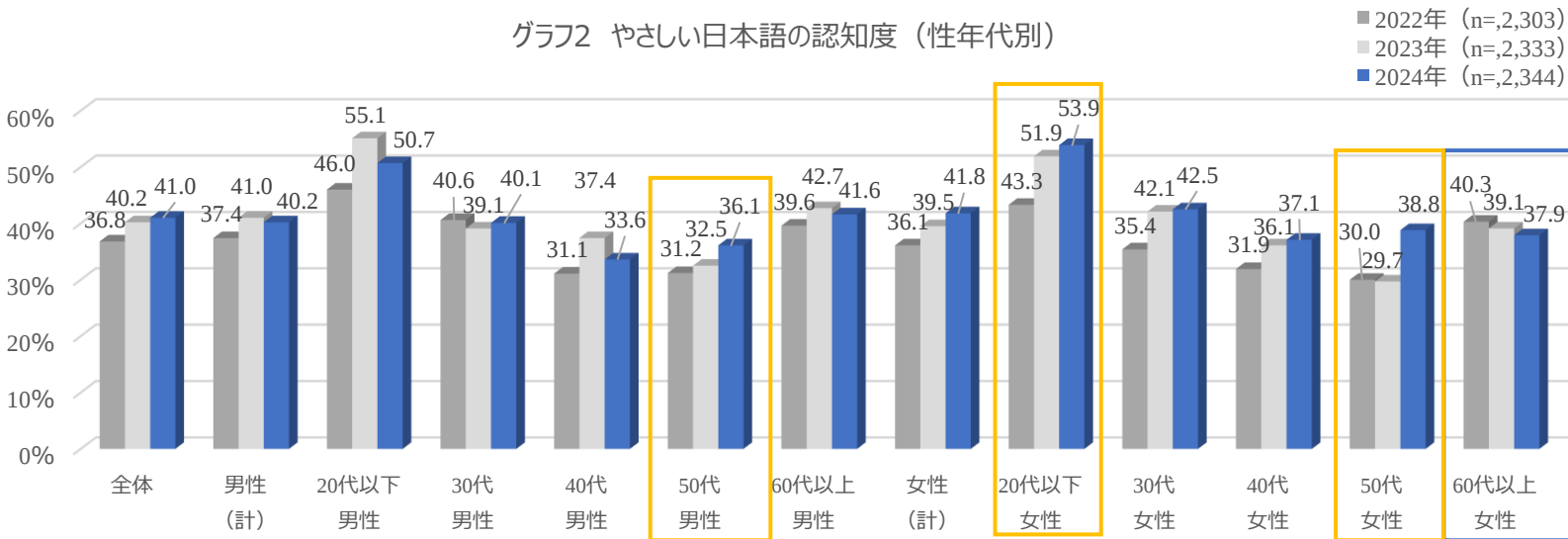
表1 やさしい日本語の認知度（全体）

	n数	よく知ってい る	ある程度 知っている	見たこと、 聞いたことが ある	全く知らない	知っている と回答した人 の合計
2022年	2,303	4.0	12.5	20.2	63.2	36.8
2023年	2,333	3.8	14.9	21.6	59.8	40.2
2024年	2,344	5.1	14.6	21.2	59.0	41.0
前年比		↑1.3	↓-0.3	↓-0.4	↓-0.8	↑0.8
前々年比		→1.1	↑2.1	→1.0	↓-4.2	↑4.2

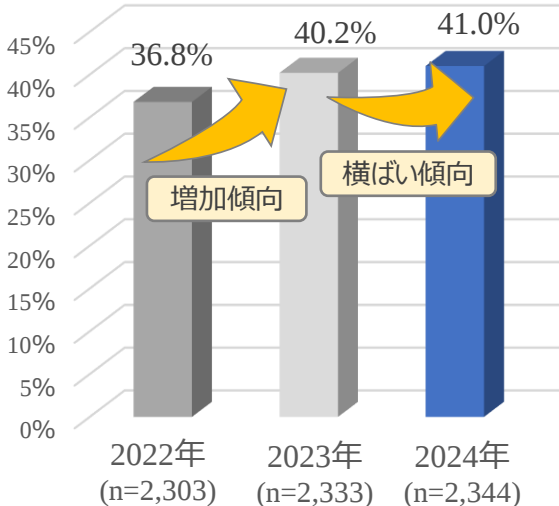
やさしい日本語の認知度（性年代別）

- やさしい日本語の認知度について、性年代別で2022年、2023年と2024年を比較した。
- 性別でみると、男性全体では、前々年から2.8ポイント増加、前年から0.8ポイント減少している。特に「50代男性」は年々増加傾向にあり、2022年から2024年で4.9ポイント増加している。
- 女性全体では2022年から2024年にかけて年々認知度が増加しており、前々年から5.7ポイント増加、前年から2.3ポイント増加している。特に「20代女性」と「50代女性」において増加率が高くなっている。「20代女性」では前年から2.0ポイント、前々年から10.6ポイント増加しており、「50代女性」では、前年から9.1ポイント、前々年から8.8ポイント増加している。しかしながら、「60代以上女性」では、前々年から比較すると減少傾向になっている。（グラフ2参照）。

グラフ2 やさしい日本語の認知度（性年代別）

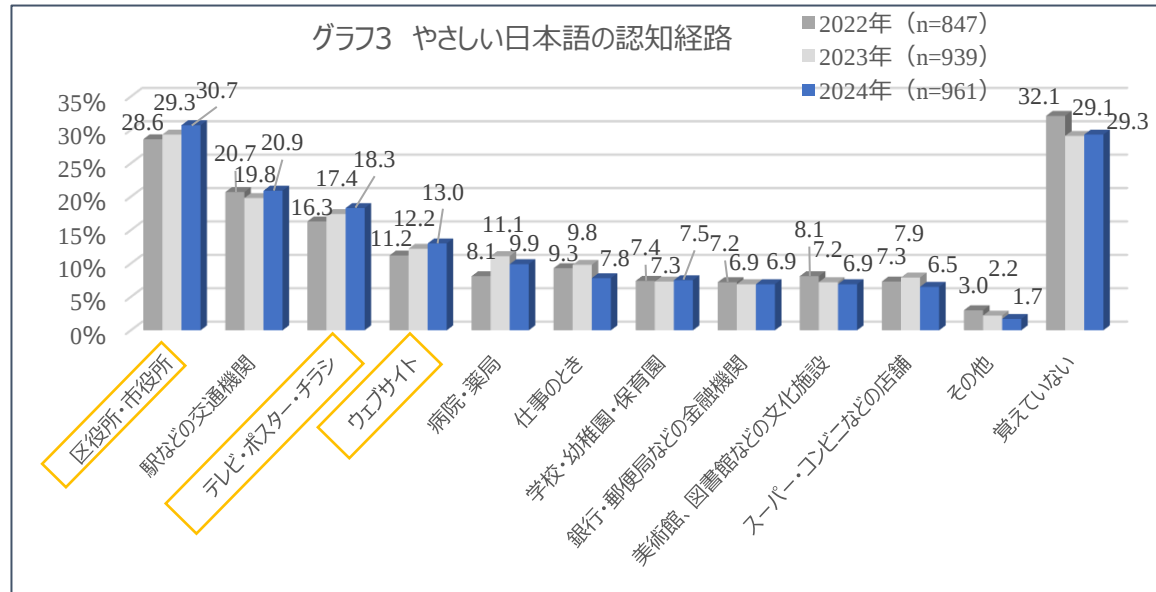


グラフ1 やさしい日本語の認知度



やさしい日本語の認知経路

- やさしい日本語を知っていると回答した人に、やさしい日本語の認知経路を尋ね、2022年、2023年と2024年を比較した。
- 全体をとおして大きな動きは見られないが、「区役所・市役所」「テレビ・ポスター・チラシ」「ウェブサイト」の比率が前々年から1.8ポイント以上増加していることから、やさしい日本語は公共の場などで認知されやすいということがうかがえる。（グラフ3・表2参照）



やさしい日本語の取組の認知度

- やさしい日本語を知っていると回答した人に、災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取り組みを知っているか尋ね、2022年、2023年と2024年を比較した。
- やさしい日本語の取組の認知度は2022年は58.2%、2023年は57.3%、2024年は59.7%で2022年から2024年まで横ばい傾向である（グラフ5参照）。
- 回答の内訳をみると、「よく知っている」は前々年比0.6ポイント減少、前年比2.0ポイント増加、「ある程度知っている」は前々年比0.3ポイント増加、前年比0.8ポイント増加、「見たこと、聞いたことがある」は前々年比1.7ポイント増加、前年比0.3ポイント減少、「全く知らない」は前々年比1.5ポイント減少、前年比2.4ポイント減少していることから、全体をとおして、やさしい日本語の取組の認知度は増加傾向にあることがわかる（表3参照）。

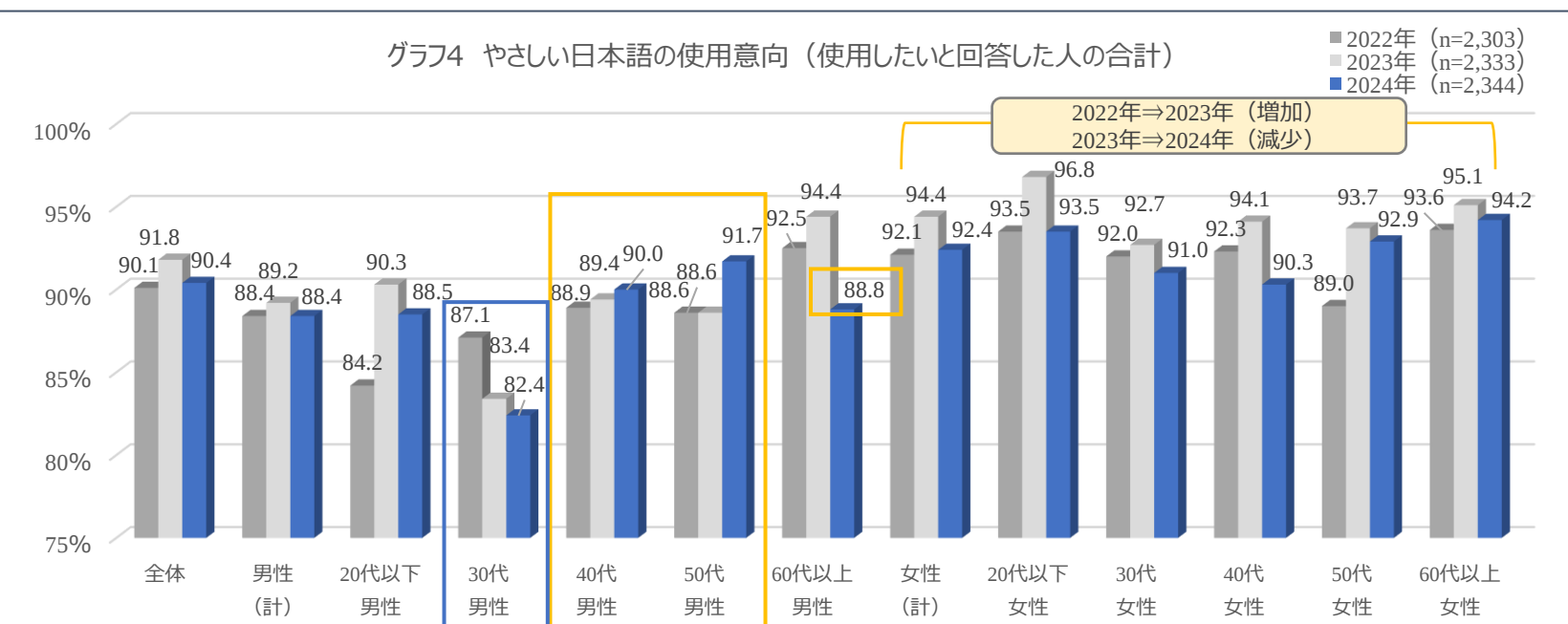
表2 やさしい日本語の認知経路（複数回答可）

	n数	区役所・市役所	駅などの交通機関	テレビ・ポスター・チラシ	ウェブサイト	病院・薬局	仕事るとき	学校・幼稚園・保育園	銀行・郵便局などの金融機関	美術館、図書館などの文化施設	スーパー・コンビニなどの店舗	その他	覚えていない
2022年	847	28.6	20.7	16.3	11.2	8.1	9.3	7.4	7.2	8.1	7.3	3.0	32.1
2023年	939	29.3	19.8	17.4	12.2	11.1	9.8	7.3	6.9	7.2	7.9	2.2	29.1
2024年	961	30.7	20.9	18.3	13.0	9.9	7.8	7.5	6.9	6.9	6.5	1.7	29.3
前年比		↑ 1.4	↑ 1.1	↑ 0.9	↑ 0.8	↓ -1.2	↓ -2.0	→ 0.2	→ 0.0	→ -0.3	↓ -1.4	→ -0.5	→ 0.2
前々年比		↑ 2.1	→ 0.2	↑ 2.0	↑ 1.8	↓ 1.8	↓ -1.5	→ 0.1	→ -0.3	↓ -1.2	→ -0.8	↓ -1.3	↓ -2.8

(%)

やさしい日本語の使用意向

- やさしい日本語の使用意向について尋ね、「積極的に使いたい」「使いたい」「必要な時があれば使う」と回答した人を「使用したい（計）」として2022年、2023年と2024年を比較した。
- 全体的を通して2022年から2023年にかけては増加傾向であったが、2023年から2024年では減少傾向にあり、特に**女性ではすべての年代において「使用したい（計）」は減少している**。減少傾向の理由について、女性で使用意向の理由を見てみると、「使用する機会/必要がない」や「やさしい日本語をよく知らない」という意見が見られた。「40代男性」「50代男性」では「使用したい（計）」は年々増加している一方、「30代男性」は減少傾向にあり、特に「60代以上男性」では2023年から5.6ポイント減少しており、他の性年代に比べ大きく減少している（グラフ4参照）。



グラフ5 やさしい日本語の取組の認知度

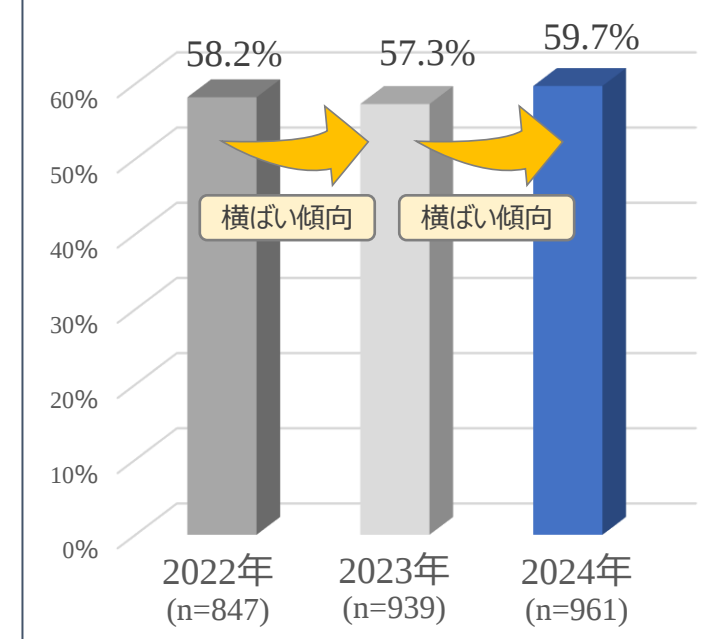


表3 やさしい日本語の取組の認知度

	n数	よく知っている	ある程度知っている	見たこと、聞いたことがある	全く知らない	知っている と回答した 人の合計
2022年	847	6.4	17.4	34.5	41.8	58.2
2023年	939	3.8	16.9	36.5	42.7	57.3
2024年	961	5.8	17.7	36.2	40.3	59.7
前年比		↑ 2.0	→ 0.8	→ -0.3	↓ -2.4	↑ 2.4
前々年比		↓ -0.6	→ 0.3	↑ 1.7	↓ -1.5	↑ 1.5

(%)